

---

■□■

□■□ 事故防止メルマガ「Think」／Vol. 238

■□■ 【発行】シンク出版株式会社 <http://www.think-sp.com/>

---

// INDEX //

- 1・2021年7月後半の安全管理ごよみ
- 2・危機管理意識を高めよう～踏み間違い事故は誰でも起こす危険がある
- 3・交通事故の裁判事例～リース契約の中途解約違約金を損害と認めず
- 4・今日の朝礼話題～一時停止交差点手前での追越しは危険
- 5・【新発売】小冊子「一瞬の油断が事故を生む」
- 6・【好評発売中】小冊子「安全管理のトラブルから事業所を守る」
- 7・【好評発売中】テスト「ドライバーのための『安全ルール理解度』診断」

// //

-----  
★7月後半の安全管理ごよみ  
-----

◆1日（木）～31日（土）

——車内事故防止キャンペーン（バス）

——熱中症予防強化キャンペーン（環境省）

——2021年度陸上貨物運送事業「夏期労働災害防止強調月間」

◆16日（金）

——国土交通Day（国土交通省）

◆22日（祝・木）

——海の日

◆23日（祝・金）

——スポーツの日

◆30日（金）

——東北自動車道全通記念日

※詳しくはシンク出版のWEBサイト「今月の運転管理」で紹介しています。

【今月の運転管理↓】

<https://www.think-sp.com/2021/06/10/jul-2021-kongetsu-untankenri/>

---

■危機管理意識を高めよう

---

『踏み間違い事故は誰でも起こす危険がある』

運転中にアクセルとブレーキペダルを踏み間違えて、建物に突っ込んだといった事故例をよく見聞きします。

報道されるのは高齢ドライバーの事故が多いので、「高齢者が起こす事故であって、自分には関係ない」と思い込んでいる人がいるようですが、踏み間違いは若年運転者にも多く、決して他人事ではありません。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2021/07/01/kikikanri-fumi-machigai/>

---

■交通事故の裁判事例

---

今回は、リース車両が事故で全損評価となり、リース契約が解約となった場合の中途解約違約金について、事故と相当因果関係のある損害かが争われた事例を紹介します。

『中途解約違約金を事故とは関係のないものも含むとして損害と認めず』

【事故の状況】

平成29年10月19日午前10時20分ごろ、Aは乗用車を運転して埼玉県内の信号のない交差点を直進していたところ、左方から左折してきた乗用車Bと出会い頭に衝突しました。

この事故で、A車の左フロントピラーは大きく変形して凹損が生じ、損傷がリアバンパーまで断続的に生じるなど大きく損傷しました。

A車はリース車であり、修理費用は車両時価額を上回って経済的全損となったために、リース契約を解約せざるを得ない状況になり、中途解約違約金を支払いました。

A社は、損害賠償を算定するにあたり、Bに対して車両時価額約76万円、車両運搬費用約9万円、代車費用約18万円の他に、リース契約を解約する際に生じた中途解約違約金109万円の支払いを求めました。

### 【裁判所の判断】

「中途解約違約金には、未払いリース料や手数料等のほか、事故によって毀損したことを前提とする車両価額相当額が反映されているのが一般的である」

「A社はリース会社との間で、事故により損害を受けた結果生じた損害賠償請求権がA社に帰属することに合意しているから、A社が中途解約違約金相当額についても損害賠償請求ができるとすると、車両価額相当額の二重取りを認める結果となり相当ではない」

「そもそも中途解約違約金はリース契約に基づき発生する債権であり、その内容は未払いリース料や手数料等の交通事故と直接関係のないものを含むものであり、その金額の算定もリース契約の約款等に基づいて行われるから、仮にA社がリース会社との間のリース契約に基づき中途解約違約金の支払い義務を負うとしても、その金額が直ちに事故と相当因果関係がある損害とはいえない」

などとして、中途解約違約金の請求を認めませんでした。

(東京地裁 平成30年12月26日判決)

---

### ■今日の朝礼話題

---

『一時停止交差点手前での追越しは危険』

最近ではドライブレコーダーが記録した事故映像がテレビでも報道されますので、事故の様子がよくわかります。

先日目にしたのは、後続車が撮影した交差点での出会い頭事故の映像でした。…

【続きを読む↓】

<https://www.think-sp.com/2021/07/05/tw-oikoshi-kiken/>

シンク出版WEBサイトでは、朝礼時や会報作成時に参考にしていただける

「今日の朝礼話題」を毎日（弊社営業日）更新しています。

（情報のご利用につきましては、以下「当サイトのご利用について」をご確認ください↓）

<http://www.think-sp.com/about/>

---

■【新発売】小冊子「一瞬の油断が事故を生む」

---

※仕様 B5判／16ページ／カラー刷

※価格 770円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

普段は冷静で安全運転を心がけている人でも、仕事のプレッシャーや焦りなどの心理に捉われると「一瞬の油断」が生じ、普段はしないような運転行動を取って事故を起こしてしまうことがあります。

そしてほんの一瞬の油断でも、ひとたび事故を起こしてしまうと、その後の人生を棒に振ってしまうことになりかねません。

本書では、「一瞬の油断」によって起こりやすい事故を6パターン漫画で紹介し、事例ごとに油断に陥る心理背景や対策を解説して理解する構成となっています。

ぜひ、こういった時に「一瞬の油断」に陥りやすいのかをしっかりと理解し、対策を実践することで、事業所での「一瞬の油断」による事故防止にお役立てください。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3gG76Hb>

---

■【好評発売中】小冊子「安全管理のトラブルから事業所を守る」

---

※仕様 A4判／16ページ／カラー刷

※価格 1,100円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

※著者 清水伸賢（弁護士）

本誌は、事業所の安全管理業務を行うに当たり、様々な法律上のトラブルから身を守るために知っておきたい法律知識をわかりやすく解説する小冊子「安全管理の法律問題」の続編です。

交通事故や労働災害、健康問題などから前作では取り上げていない関心の高い事例を6つ挙げ、解決方法や予防方法を紹介しています。

正しく法律知識を身につけ、対策することで、事業所全体の安全意識の高揚へとぜひお役立てください。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/3r8Sxzz>

---

■【好評発売中】テスト「ドライバーのための『安全ルール理解度』診断」

---

※仕様 A4判／4ページ（複写式）／カラー刷

※価格 550円（1セット＜5冊＞・税込・送料実費）

免許取得時にはしっかり覚えたはずの道交法に定められたルールも、時間が経つにつれ記憶があいまいになってしまい、誤った解釈をしたまま運転を続けていませんか？

本テストでは、うっかり勘違いをしやすい安全ルールについて48の質問に「ハイ」「イエ」で答えていただくことで、普段どれぐらいルールを理解できているかを知ることができます。

「対歩行者・自転車ルール理解度」や「一時停止と徐行ルール理解度」など、勘違いをしたままだと交通事故に結びつく危険度の高い安全ルールについても理解度を確認できますので、ご自身の弱点を知り、今後の安全運転に活かすことができます。

【詳しくはこちら↓】

<https://bit.ly/2LIgnD9>

-----

【事故防止メルマガ「Think」のバックナンバーはこちら↓】

<https://goo.gl/duF5ws>

本メールマガジンは、名刺交換をさせていただいた方々にも送信させていただいております。今後、メールマガジンの購読を希望されない場合は、お手数ですが下記アドレスまでご連絡をいただきますようお願いいたします。

(令和3年7月5日送信)

※本メールは「MSゴシック」などの等幅フォントで最適に表示されます。



～人と車の安全な移動をデザインする～

シンク出版株式会社

大阪市北区天神橋1-7-15 ビアリッツ天神橋501

TEL 06-6809-1989

FAX 06-6809-1984

Eメール [mail@think-sp.com](mailto:mail@think-sp.com)

URL <http://www.think-sp.com/>

